

平成26年3月15日  
(公社) 日本フェンシング協会  
選手強化本部

## 世界選手権 (2014/RUSSIA・Kazan) 大会 日本代表選手選考方針及び基準

### 1. 日本選手団 編成方針

- 1) 2016年、2020年オリンピック競技大会でメダル獲得並びに十分な活躍が期待される選手、将来有望な選手の中から編成する。
- 2) 礼儀と規律を遵守し、フェンシング日本代表としてふさわしく、かつ参加各国との友好と親善に寄与できる・選手・役員をもって編成する。
- 3) 2014年世界選手権大会は、2016年リオ・デジャネイロオリンピック出場レースの前年に開催される最も重要な大会であることから、下記の基準に基づき国際競技力の最も高い選手を選考する。  
なお、この大会を基にリオ五輪の最重点強化選手の選定等、2015年強化方針に大きく反映される。

### 2. 競技期間：2014年7月15日～7月23日

### 3. 派遣種目及び派遣人数

男子フルーレ4名、男子エペ4名、男子サーブル4名  
女子フルーレ4名、女子エペ4名、女子サーブル4名 計24名

### 4. 選考について

#### 1) 選考対象選手

国内ランキング上位者及び強化本部会が推薦する選手の中から強化拠点練習（味の素ナショナルトレーニングセンター）を経てワールドカップ大会に出場し、国際大会で活躍が期待される選手とする。

#### 2) 選考基準（フルーレ・エペ）

①2014年1月から5月末までに開催されるワールドカップのうち、上位4大会のポイントをカウントした上位者2名を選考する。

（但し、6月1日現在でFIE世界ランキングが100位以内の選手に限る。）

該当者がいない場合は、その選手枠は②「総合能力に基づく選考方法」により選考する。

②残りの選手枠については、下記の「総合能力に基づく選考方法」により選考する。

**【総合能力に基づく選考方法】**

- (1) 基礎的運動能力（ハイスタンダード）
- (2) 競技パフォーマンス（体力要素、技術要素、心理要素）
- (3) 団体戦での戦略理解、実行力
- (4) ターゲット競技会（2020年東京オリンピック）における活躍の可能性

※これらの事項に基づき、総合能力をコーチが検討し、派遣選手を選考する。

③上記①②の基準に達していても、競技会時に影響を及ぼすスポーツ傷害がある場合は選考しない。

④選手選考日：平成26年5月30日

3) 選考基準（サーブル）

①ナショナルチーム（ランキング上位6名+推薦2名）のメンバーの中から、国際大会での成績、強化練習での状況等②「総合能力に基づく選考方法」により選考する。

②下記の「総合能力に基づく選考方法」により選考する。

**【総合能力に基づく選考方法】**

- (1) 基礎的運動能力（ハイスタンダード）
- (2) 競技パフォーマンス（体力要素、技術要素、心理要素）
- (3) 団体戦での戦略理解、実行力
- (4) ターゲット競技会（2020年東京オリンピック）における活躍の可能性

※これらの事項に基づき、総合能力をコーチが検討し、派遣選手を選考する。

③上記の基準に達していても、競技会時に影響を及ぼすスポーツ傷害がある場合は選考しない。

④選手選考日：平成26年6月1日

以上